

磐城時報

日刊
三廿
石城郡石城町
印刷所 磐城時報社
電話 二二二
代印所 磐城時報社
電話 二二二
廣告料 一行五字 一月五元
一行五字 一月五元
一行五字 一月五元
一行五字 一月五元
一行五字 一月五元
一行五字 一月五元
一行五字 一月五元
一行五字 一月五元
一行五字 一月五元
一行五字 一月五元

片倉に猖紅熱 怪しげな幹部の態度 一般で成行きを注目

平町片倉製紙株式會社社長越えて叱責した由で一般では山本薫氏長女山本和子(八ツ)の諒解に苦しんでゐる。病院長石山博士の診断を求めた處丹毒として共済病院に收容したが、之と前後して同じ片倉會平町役場、平青年團後援中華民社宅に居住してゐる社員堀内國上海東亞同文書院講演會は二治三郎二女照恵(八ツ)が發熱し十五日後一時平第三小學校に嚔托醫鎌田町金成醫院金成忠義開くが、演題及講師左の如くで氏の診察をうけた處金成氏は猖紅熱である。

東亞同文書院 講演會

一、演題及講演者
一、支那排日運動の實相
一、現代支那婦女に就いて
千枝 陸 郎
一、支那國民性
一、赤道を越えて
佐藤 金 藏

石城地方の秋蠶

近年稀な好況

石城郡下の秋蠶は廿二、三日頃壯盛期には申分のない良葉となから出廻るが今秋蠶は一般養蠶り特に二齡前後から朝夕の冷涼家が春爾高値の持績を見越してによつて蠶兒は完全に飽食した増を豫想されてゐる、秋蠶の出質は糸量も至つて豊富で解舒も來柄につき玄人筋の觀測によればよく上簇法の改良と冷涼によれば掃立直前は早天續きのため桑葉は確實と見てゐる。

四倉蘭市場

廿五日から開市

四倉蘭市場は廿五日から十月十五日まで開かれるが、同市場では三萬四千貫の蘭を見込み二十日産業組合中央金庫から蘭資六萬圓の融資を受けた。

在郷軍人

石城在郷軍人分會主催第六回武道大會は二十七日午前八時から字水野谷義雄次女植崎英子(九)晴雨にかかはらず警中道場(舉ツ)は二十七日午後二時半頃附近溜池で水泳中溺死した。

武道大會

平町月見町附近で最近頻々と放ツネ(四五)は昨年十二月隣家の火事件があり、その都度発見消滅地兵衛氏方から炭、エプロンし止め大事に至らなかつたが二石炭等を窃取したのを手始めに十二日午後十一時頃同町青木某附近十數件を荒し廻り二十二日所有家屋に放火したのを火防組ポンプが駆けつけ消し止めた。平署では面白半分の放火と睨み犯人嚴探中である。

月見町附近に 毎夜の如く放火 面白半分の仕業か

石城郡勿來町驛前鍛冶屋金森四郎(三六)は本年一月頃から附近の桶職渡邊泰治妻(二四)と通じてゐたが冷かな態度を見せるので裏切られたと思ひ込み二十二日午後七時頃渡邊方に暴つたんだとさう却つて散々に引つたかたのすつかり悲觀し自宅へ歸るや出及庵丁で切腹一人心中を遂げた。

鍛冶屋

出及で割腹

平町鎌田下河原一五居住千葉藤佐倉町生れ下駄齒入大柳辰次郎内妻荒木

玉葱品評會 入賞者氏名

石城郡會主催玉葱品評會は二十一日午前九時から神谷農事試験分場に開いたが、出品九十点審査の結果左の如く入賞した。

一等 江尻運壽(草野) 二等 蘭部佐吉(大浦) 同岡田久平(大浦) 三等 片寄義平(草野) 同金賀光彦(草野) 同矢内左右(木戸村) 四等 大平喜三(上小川) 片寄良典(草野) 志賀一男(内郷) 江尻眞晴(草野) 高木幹枝(同) 若松薫(大浦) 矢吹武平(平窪) 青木敏明(夏井) 坂本武(草野)

水泳中溺死

石城在郷軍人分會主催第六回武道大會は二十七日午前八時から字水野谷義雄次女植崎英子(九)晴雨にかかはらず警中道場(舉ツ)は二十七日午後二時半頃附近溜池で水泳中溺死した。

相馬支局通信

相馬支局通信
博士の替玉
田町に移ブス
平町

料亭曙の女將を コックが脅迫

元平町三丁目四〇カフエー黒猫齋藤氏は去月十七日前記銀作妻事利根川金三郎方コック野口義しん(三三)が妊娠八ヶ月の身重照(二三)は去月三日田町六二依に病状を呈し治療を申込んだの食店あけぼの事高橋竹四郎氏内を機會にばらばらうけを企て手妻後藤ハルノ長女タツノ(二〇)術を半途に止めて自分の手にか脅迫誘拐し二十二日平署に告なはぬから仙臺大學病院から博士を呼ぶと稱して銀作氏の同意を求め中村町門馬醫師を博士に任立て、來診せしめ胎兒の手足を切取つたのみで兒頭が残つてゐるのも構はず手術中止し完全に済んだからと安心せしめ博士の來診料五十圓、手術料三十圓計八十圓の内金として三十圓を受取つたが、患者の容態急變に驚き治療二日間を經過した十九日銀作氏から萬一の際には絶対に異議をいはない旨の証書を作らせたもので、しんは明るく日塗炭の苦しみのうちに死亡してしまつた、醫師界未曾有の不祥事取調べを行った事件は原町産科婦人科齋藤醫師が博士の代玉を確証があつたので今日中に齋藤氏を召喚するらしいが、これ取調中

歐洲の旅から 鷹崎正見

十一時でウインに出發します益々元氣で旅行してありますから御安心下さい、モスコイの日本橋と言つたところで、六月三日午前十一時ウイン着、高莊な建物、典雅な風情、仙臺の武藤君が迎へてくれたて好都合です、本日中午に當市第一のホテルを退いて私だけ室を借ります。(ウインにて)七月二十六日夜十時、四十分日住み馴れたベルリンを出發してストットガルトに來て

が端緒で町内の患者を偽り多額の治療費をせしめたことや、同僚をあやつつた懸案事件の數々が現れ町民を戦慄せしめてゐる

平上水道使用激増

連日炎天のため平水道使用量は俄然増加し去月の中の總使用量は一昨年の三百九十二萬五千六百五十六、昨年の四百三十三萬二千八百、に對し約三割増加の五百三十萬一千三十六立方尺に達した尙これが一日及一日最高使用量左の如し。

最高	平均
六年 一四、五〇〇	一三、八〇〇
七年 一四、三〇〇	一三、六〇〇
八年 一六、〇〇〇	一五、六〇〇

結婚費用に 納税を横領

平町橋小納税組合長小野鶴松(四四)は組合員鈴木軍次外六名の納税積立金中娘の結婚費用に三百九十圓を横領費消したのを町役場から納税の督促で組合員の知る所となる過般組合を解散糾して居るのを平署で探知

納税を横領 平署で取調中

五年目に一回あるといふドイツ全體の體育祭を見ました。政府の招待なので三日間政府の自動車を買ひ八十八萬人の出入の中を木戸御免で歩き廻りました。三十萬人の人々が集つた前でヒットラー宰相が演説してゐましたが私は彼の頭の上に乗つてゐました。こんなよい場所は大に大臣がなればぬ所です。ライン川を船で下り實に風光明媚歴史を調べれば盡きぬものがあります。すてカメラに入れて居ます。ケルンの町は大變に古い町で天に響ける寺院は宏大大で言ふ事が出来ません、第一流のホテルです。二泊しました。(八月三日)

耳鼻咽喉科 專

氣管食道科 門

病室完備：自炊の便あり
平町南町 大和田醫院
電話一七〇番



和洋銅鐵金物問屋

久益屋商店

諸橋久太郎
電話九九番

ヒナモフ號

利益配當證券分讓

— 絶好の買時 —
潜水王片岡弓八愈々現地作業開始
一億圓の金貨金塊引揚
一口(拾圓券)に對し
壹千圓配當豫想
第一回の金貨を引揚げれば拾圓證券が
百圓の相場を出現せん
①現物僅少至急御申越あれ—
平町字五丁目
申込所 佐々木株式会社
電話二五三番

耳鼻咽喉科 專

醫學士 鈴木正男
平町田町(電話五八番)
藤田女學校前

齒科 口腔外科

日本齒科醫學士 鈴木喜政
内郷村高坂醫院前

鈴木醫院

外科 專

X光線科

國病室完備
平町南町
上田外科醫院
電話一二九番

腸胃 性病 專

內科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚病科
婦人科

村松科醫院

性病 腸胃科
(番七〇一電町南町平)

女給さん—數名

優遇大至急募集
新築落成—十日開業
カフエ—平樂新館
平町二丁目角
電話二九六番

袋製造

賣販—袋—製造
袋種各—糖砂—子菓
裏店商金大目丁一町平
所袋製木鈴
及店濯洗洋西澤永岸川

大藏省允許



無盡蔵

貯蓄 贈答 贈答用品の相談所

贈答用品の相談所

季節向實用品を豊富に
取揃へました。………
ツルヤ 電一四〇

石炭

平驛前
阿部石炭店
電話三七番

高久病院

平町田町(電話五二三番)
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清雄
藥劑士 佐竹菊雄

內科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

諸橋外科醫院

醫學博士 諸橋鐵彌
平新川町廿七(電話四六四)

開業
入院室 手術室 ……完備

診療科目
○內臟外科 ○整形外科
○腦外科 ○皮膚科
○婦人外科 ○性病科
○一般外科

耳鼻咽喉科 專問

平町田町七十番地
山内醫院
醫學士 山内亨吉
電話六九一番

入院隨意
病室完備